

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会競技注意事項により行う。
- 2 点呼は、プログラムに記載された招集開始時刻の5分前までに、ゴール付近に張り出された点呼用紙の自分のビブス番号に○印を付ける。トラック競技出場者は各自で腰ナンバーを取ること。その後、招集開始時刻から招集完了時刻までに現地に集合し、トラック競技は出発係、フィールド競技は跳躍審判・投てき審判のチェックを受けること。○印が無い場合や招集完了時刻を過ぎても本人が現地にいない場合は棄権とみなし処理をする。
3000m以上の競技については、競技者係でアスリートビブスの確認を受けた後、胸ゼッケンを受け取り、胸背の両部につけること。
- 3 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- 4 同時に2種目以上の競技に出場する選手は、二種目同時出場届を必ず競技者係に提出すること。
(トラック競技を優先とする)
- 5 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。
- 6 棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりとする。
【女子】練習 1m50 競技 1m60 以降 10cm 上がり
【男子】練習 1m90 競技 2m00 以降 10cm 上がり
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 7 三段跳の踏切板は、大会当日フィールド審判長が決定する。
- 8 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
【中学男子】練習 1m20 競技 1m20～1m50 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【中学女子】練習 1m05 競技 1m10～1m35 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【共通男子】練習 1m40 競技 1m40～1m70 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【共通女子】練習 1m20 競技 1m25～1m40 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする
- 9 棒高跳のポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てきの用器具については検定を通ったものを使用しても良い。
- 10 競技場の競走路・助走路は全天候舗装のため、競技用靴のスパイクの長さは 9mm 以下を使用しなければならない。走高跳・やり投は 12mm 以下とする。

11 その他

※ 砲丸の重さ

区分	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.500kg	1.000kg

※ ハンマーの重さ

区分	一般男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg